

今回が初めての自主伝研だったのですが、学生時代の合宿を思い出すような和やかな雰囲気の中、一つのテーマをじっくりと考えながら、発表・聞法・座談・講義という機会をいただくことができありがたいことでした。テーマである「宗門人としての私の課題」は普段から法務の中、何度も悩み、ぶつかっている壁でありながら、深く考えることなく通り過ぎてしまっていたものでした。

改めてこのテーマを考えるにあたり、これまでの生じてきた問いを、私は自身の感覚・経験の範疇でとどめてしまい、お聖教や先達を訪ねながら整理するということが欠けていることを痛感しました。一方で、発表や座談をしている中で、皆さんがお聖教や先達の思い、言葉を大切にしておられる姿をみて強い刺激を受けました。また、座談という場を通して、自分自身の発した言葉から「こんなこと考えていたのか」と驚くことや、自分の意図とは違った捉え方を示していただくことで自分の考えが狭くて偏っていることに気付くことができました。

最後に、今回はあまりにもたくさんの方の感動を伴った尊い言葉や視点に出遇わせていただき、正直処理が追いつかないところもありました。しかし、その一つ一つが今後宗門人として歩いていく中で、幾度となく呼び起されてくる大事なものであることは間違いないと確信しています。本当にこのような集まりの御縁をいただけたことがありがたいことでした。